

2、渡輪上~夕陽下—思鄉—同理心—同聲唱

四人走在渡輪甲板上，正值夕陽西下，淡水河上波光點點。

【A1-11】

四人はフェリーの甲板を散歩している。夕日が落ち、淡水河はきらきら光る。

| | |
|---|--|
| A-may 哇！好美的夕陽！ Nana：真的，好美！ 阿丁：這裡，讓我想起了家鄉。 家鄉也有這樣的渡輪和夕陽。 Nana：我也開始想家了。小時候，常常和父母一起搭渡輪。 A-may：Nana！（掌心貼著 Nana 的手背） Nana：妳聽，這音樂好熟悉。 | A-may 「うわー！きれい！」 Nana：「ほんと。きれいね。」 丁：「この景色を見ると、家を思い出すよ。僕の家の近くも本当にこんな感じなんだ。」 Nana：「私も。小さい頃、両親と一緒にフェリーに乗ったことがあるの。」 A-may：「Nana！」（Nana の手の上に自分の手を重ねる） Nana：「ねえ、この歌、懐かしくない？」 |
|---|--|

A-ku 以口哨吹出旋律。A-may 開始跟著口哨唱起歌來。

A-ku は口笛を吹いている。A-may はそのメロディーに乗せて歌いはじめる。

| | |
|--|--|
| 阿丁：這是我們小時候常唱的歌曲。 （阿丁也開始跟著邊唱邊打拍子） Nana：這裡，跟我夢中的家鄉好像，好像啊。 最近，經常會夢到家人和家鄉。 （眼中閃爍著淚光，卻又浮現笑容。阿丁上前攬住 Nana 肩膀，輕扶著她。） 阿丁：珍惜眼前的一切！有一天，可能我們也會這樣思念這裡。 Nana：是啊，一定會的。大家都這麼好！ A-ku：適應不同的文化，多少還是要學習接受。只是，接受別人，不一定要自我壓抑。 Nana：我是有點在壓抑自己的母語，希望快點學會（中文）。 阿丁：接納他人而又不壓抑自己，才不會壓力那麼大。 A-ku：我同意。 A-may：但是，跨文化學習真的不容易。 | 丁：「この歌、子供の頃よく歌ってた。」 （丁もリズムを取り始める。） Nana：「ここ、夢で見る私が住んでいた場所に似ているわ。最近、よく家族とか住んでいた所のことを夢に見るの。（涙目になったものの、すぐ笑顔になる。） 丁は Nana の肩をやさしく自分のほうに抱き寄せる。） 丁：今を大切にしよう！そうすれば、いつかここも懐かしく思えるようになるよ。 Nana：「そうね。きっとそうなるわ。みんないい人だし。」 A-ku：「環境が変わると、いろいろ驚くこともある。でもだからって自分を抑えることはないよ。」 Nana：「私、母語を話さないようにしてるの。早く中国語が上手になりたいから。」 丁：「それもいいけど、無理しない程度でいいんじゃない。」 A-ku：「そうだよ。」 A-may：「でも、外国で暮らすって本当 |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>Nana：還好啦！雖然辛苦，但並不痛苦。 A-ku：可憐的美女，看這裡！（A-ku 按下快門）</p> | <p>につらいのね。」 Nana：「そうでもないわ。大変だけど、つらくない。」 A-ku：「みんな、こっちを向いて。」 （A-ku、シャッターを押す。）</p> |
|--|--|

